

丹後市民局  
**ルックルック!**  
 NEWS

**アイデアを形にしよう!**

地域の好きなところは? 地域で何がしたい? 誰と一緒に?



令和2年2月11日(祝火)に開催された「第1回宇川つながるミーティング」※取り組みの詳細は中面をご覧ください

これまで発行した丹後市民局NEWSがご覧いただけます!

京丹後市のホームページで過去に発行した丹後市民局NEWSをご覧ください。「丹後市民局ニュース」と検索していただくか、右記二次元バーコードからご覧ください。また、丹後市民局でお渡しすることもできますのでお問い合わせください。



丹後町の人口		
	R2.1月末	前月比
0~14歳	452	2
15~64歳	2,463	-1.5
65歳~	2,165	0
計	5,080	-1.3

丹後町内の元気やおめでたい情報をお届けする

**Tango 元気 news**

宇川加工所

「宇川の元気印!」として13人のメンバーで活動されています。清流宇川や袖志の棚田など自然豊かな地域で育まれた農作物や海産物を材料に、えごまキムチや宇川はったい粉など、多種多様な加工品づくりを行っておられます。

ランチバイキングや経ヶ岬灯台でのおもてなし(加工品の販売含む)など、地域のにぎわいづくりや活性化のために精力的に活動されています。宇川加工所の商品は、道の駅てんきてんき丹後や丹後王国食のみやこなどでお買い求めることができます。



丹後町な場所 \*丹後町間人 間人公園墓地\*

今回の丹後町な場所は「間人公園墓地」からの風景です。小さい頃から母方のお墓参りに来たら、いつも素敵な景色だと感じていました。ここは間人の町が自然と共に生きてきて、歴史を重ねてきた事を感じられる場所でもあります。私にとって「原点」になっています。(地域おこし協力隊 大木史帆)



**Tango 元気 news の掲載団体を大募集!**

スポーツ、文化芸術、サークル活動など、皆さんに広く知ってほしいニュースがある団体や個人を募集します。掲載を希望される方は、丹後市民局までご連絡をお願いします。  
 【連絡先】京丹後市市長公室丹後市民局 (TEL0772-69-0714)  
 ※誌面の都合上、全ての希望に沿うことはできません。ご了承ください。

# 丹後町な人、丹後町な場所

地域おこし協力隊で丹後町担当の大木史帆が、丹後町の魅力的な人や場所を紹介するコーナー（文字及び写真：大木史帆）



丹後町

丹後町な人\*大木史帆さん\*  
 今回の丹後町な人は私 大木史帆です。地域おこし協力隊の丹後町担当になり約1年。少し活動報告と想いを聞いて頂けたら嬉しいです。簡単に自己紹介。京丹後市大宮町下常吉で生れ育ち、丹後町間人は母の生まれ育った場所、小さい頃から山と海は身近なものでした。進学と同時に長い間丹後を離れていましたが、平成30年11月19日協力隊に着任。丹後にUターンしました。  
 この1年は主に宇川加工所さんに所属させて頂き、関係する行事やイベントなどに参加し学ばさせて頂きました。私が感じた事は、宇川加工所は手の届きにくい所に目向け、穴を少しずつつふさいでくれているような存在。一

届きにくい所に目向け、穴を少しずつつふさいでくれているような存在。一

一緒に活動していると地域の皆が喜んでくれたらいいなという思いが伝わりました。また並行して地域での集まりの場、話し合う場にも行かせて頂きました。今の現状、地域内で解決しようと思うと限界を感じる部分もあり、じゃあどういった形なら地域外の人が協力させてもらえるかが、今後の課題ではないのかなと感じました。また、いろいろ見てきました。また、でなにかやろうと思った時、一人の力なんてほんとに小さな事だと気づかされました。  
 では、自分出来る事とは？と考えた時、私は協力隊になる前、大阪で丹後食材を使用し丹後をアピールする小さな飲食店をやりました。話すだけでは実体感がないと感じてました。そこで、よりリアルな丹後をお伝えしないとダメだと考え、それにはまず空き家で宿をし田舎生活が実体験できる場を作りたいと思っています。

実際にUターンすると空き家は多くありますが活用は難しく、丹後町にはお店もあまりありませんでした。なので空き家を改修し、皆が集まれるところ、顔を見れるところ、ちょっと面白い公民館のような場所にした」と。また京丹後市外の方には丹後町にしかないもの、ここだけしか食べられないもの、ここからできる体験など、多くの事がここまで来るからできて、来た甲斐があったと言ってもらえるような場所に、またいろんな人の交流の場をつくりたいと考えようになりました。  
 まず自分で働き場を作り生活できることで、少しでも地域に貢献できる形になればと。まずそれが第一歩ではないかと！正直不安ですが・・・住んでる方、丹後町に来られる方に来てよかったです」と言ってもらえる場所を目指します。



今月の「丹後町な場所」は前面に掲載しています

丹後町内の地域の動きやトピックスをお届けする

## Tango 地域 news

### 第1回宇川つながるミーティング

2月11日(祝・火)、宇川アクティブライフハウスで、第1回宇川つながるミーティングが開催されました。龍谷大学政経学部今里ゼミの学生や地域外の方を含む60人が参加し、グラフィックファシリテーターとして活動されている有廣悠乃さんを進行役に迎え、宇川を良くするための話し合いが行われました。

参加者からは、自分では思いつかないことを知ることができた「やりたいができるかもに変わった」などの感想に加え、まず小さくてもよいから一つやっつけければ」という意見も聞かれました。

今後は、話し合いで生まれたアイデアを実現させるためのミーティングが開催される予定です。

※3月1日(日)に計画されていた第2回宇川つながるミーティングは新型コロナウイルス感染症の拡大を考慮し延期になりました。

### 第1回宇川つながるミーティングで出た活性化に向けたアイデア (一部抜粋)

- 「宇川に住んでいる人が楽しめるイベント」
- 「観光につながるようなプロジェクト」
- 「文化の伝承」「宇川の農業振興」
- 「子どもを巻き込んだ楽しいこと」



### 第3回豊栄のみかた

2月16日(日)、旧豊栄小学校で第3回豊栄のみかたが開催されました。豊栄の活性化策として佛教大学の学生たちが丹後ちりめんの端切れを使った小物の作製・販売を提案し、提案後には参加者と一緒にレプリカを作成し、感想や実現に向けた改善点などについて意見交換を行いました。

意見交換では、地域からは次年度は提案された小物の試験販売を行ってはどうかとアイデアの具体化を期待する意見があり、学生からは地域と学生でもっと情報を共有し、意見交換を行い、地域課題を一緒に解決できる流れを作れば」と意見がでていました。

今年度から始まった佛教大学と豊栄地域との連携は次年度以降も継続され、引き続き活性化にむけた取り組みが実施される予定です。



学生が企画・作製した小物 (髪飾り)



提案では原価計算まで行っていました



9人の学生が豊栄地域の活性化策について発表